

# Refugees, Relief and Resettlement 難民研究アーカイブ集

第1集：第二次世界大戦と強制移住 / 第2集：冷戦初期と脱植民地化時代

## 政府機関、救済機関、当事者など、あらゆる視点を含む難民関連文書を電子化

難民危機の問題は、世界各地のメディアで取り上げられる一方、その歴史の多くの側面がいまだに語られずに取り残されています。本データベースは、政府文書、救済機関の出版物、第二次世界大戦前、戦中、終戦直後の難民危機の原因、影響、反応を伝える報告書、パンフレット、エフェメラ等を収録し、ヨーロッパ、北米、アジア難民や亡命者の苦境を記録します。

収録文書には、非政府組織の救護活動、移住先での慈善事業、難民の日常と経験を伝える当事者の語り、様々な政治的危機や変動に対する政府の反応など、あらゆる立場の視点を持った文書が含まれ、20世紀に発生した強制移住の複雑な歴史を解き明かします。

国内外の強制移住のみならず、自主避難、難民キャンプ拘留、人口移動、強制労働からの帰還など、様々な種類の難民をとりあげ、グローバルな規模で難民の歴史を記録します。

- ◆ 収録文書の種類  
書簡 / 政府文書 / 報告書 / 個人文書 / NGOの記録 / パンフレット / エフェメラ (短命出版物) / 法廷文書
- ◆ 取り上げられる主題  
難民研究 / アフリカ・アジア研究 / 20世紀ユダヤ / ヨーロッパ研究 / 世界史、外交史、軍事史 / 公衆衛生 / 社会学 / 経済学 / 政治学

## Part 1: Forced Migration and World War II 《第1集：第二次世界大戦と強制移住》

- ◆ 収録年代：1933年から1960年 (大半は1935年から1950年まで)
- ◆ 文書ページ数：59万ページ
- ◆ 掲載トピック：  
難民と国家・国際連合・非政府機関 / 第二次世界大戦、アジア太平洋戦争 / 国際関係史・軍事史・安全保障 / 戦間期・スペイン内乱 / ホロコースト・ユダヤ人問題 / イスラエル・パレスチナ問題 / 大英帝国・コモンウェルス史 / 植民地史・ポストコロニアル研究 / 戦後期・冷戦期 / 人権・主権と安全保障 他
- ◆ 原本所蔵元：  
英国国立公文書館、大英図書館、米国立公文書館、世界のユダヤの救済 (World Jewish Relief)

## Part 2: The Early Cold War and Decolonization 《第2集：冷戦初期と脱植民地化時代》

- ◆ 収録年代：1947年から1979年
- ◆ 文書ページ数：40万ページ
- ◆ 掲載トピック：  
インド・パキスタンの分離独立 / 朝鮮戦争 / アルジェリア戦争 / ハンガリー動乱 / インドシナ戦争 / 中東戦争 / プラハの春 / アンゴラ内戦 他
- ◆ 原本所蔵元：  
英国国立公文書館、ラトガース大学、ニューヨーク市法曹協会

日本販売総代理店

BOOKS  
KINOKUNIYA 紀伊國屋書店

デジタル情報営業部

〒153-8504 東京都目黒区下目黒3丁目7番10号  
TEL: 03-6910-0518 e-mail: online@kinokuniya.co.jp

## Part 1: Forced Migration and World War II 《第二次世界大戦と強制移住》

### 英国立公文書館所蔵コレクション

- ◆ Refugee Records from the General Correspondence Files of the Political Departments of the Foreign Office, Record Group 371, 1938-1950  
外務および英連邦省政治部 一般政務文書 難民記録 グループ371、1938-1950年
- ◆ Refugee Files from the Records of the Foreign Office, 1938-1950  
外務および英連邦省 難民記録、1938-1950年
- ◆ Refugee Records from the War Cabinet, the Colonial Office, the Defense Office, the Home Office and the War Office, 1935-1949  
植民地省、戦時内閣、国防省、内務省、陸軍省 難民記録、1935-1949年

### 大英図書館コレクション

- ◆ Refugee Records from the Public and Judicial Department Collections of the British India Office, 1939-1952  
英インド省内務・司法省コレクション 難民記録、1939-1952年

### 米国立公文書館所蔵コレクション

- ◆ Records of the Department of State Relating to the Problems of Relief and Refugees in Europe Arising from World War II and Its Aftermath, 1938-1949  
第二次世界大戦中・戦後にヨーロッパで発生した難民と救済関連 米國務省記録、1938-1949年

### World Jewish Relief所蔵コレクション

- ◆ Archives of the Central British Fund for World Jewish Relief, 1933-1960

## Part 2: The Early Cold War and Decolonization 《冷戦初期と脱植民地化時代》

### 英国立公文書館所蔵コレクション

- ◆ Refugee Records from the General Correspondence Files of the Political Departments of the Foreign Office, Record Group 371, 1947-1970  
外務および英連邦省政治部 一般政務文書 難民記録 グループ371、1947年-1970年
- ◆ Refugee Files from the Records of the Foreign Office, 1947-1970  
外務および英連邦省 難民記録、1947年-1970年
- ◆ Refugee Records from the Offices of United Kingdom, 1947-1970  
英国各政府省庁 難民記録（外務省以外）1947年-1970年

### ラトガース大学所蔵コレクション

- ◆ Selected Records of the American Council of Voluntary Agencies for Foreign Service Refugee Records  
海外事業運営篤志団アメリカ協議会精選文書

### ニューヨーク市法曹協会所蔵コレクション

- ◆ Briefs Filed Circuits of the U.S. Federal Appeals Courts on Refugees and Asylum  
難民・亡命に関する控訴趣意書集

### ご契約形態

- パート単位の恒久アクセスライセンス（買切り）にてご契約いただけます。  
維持料金はかかりません。
- 同時アクセス数は無制限です。
- テキストマイニング用データも別途ご購入いただけます。
- 価格は在籍者（教員・大学院生・学部生の総数）により異なります。
- 個別にお見積申し上げますので、最寄りの営業部/所まで、お問い合わせください。

# 第1集：第二次世界大戦と強制移住

## Refugee Records from the General Correspondence Files of the Political Departments of the Foreign Office, Record Group 371, 1938-1950

### 《外務および英連邦省政治部 一般政務文書 難民記録 グループ371、1938-1950年》

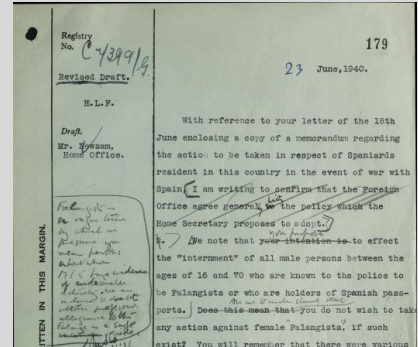
第二次世界大戦前、戦中、終戦直後の難民の状況を詳述した広範な英語資料を収録します。外務および英連邦省シリーズ371ファイル（FO371）は特にヨーロッパの情報に強く、難民危機のグローバルな規模での理解を可能にします。一時的な難民キャンプの設置、戦争捕虜の強制収容、祖国への帰還、植民地行政に携わった地元民の配置転換その他、戦争による緊急事態を反映したあらゆる状況に関わるコンテンツを見つけることができます。

対象民族、教徒：

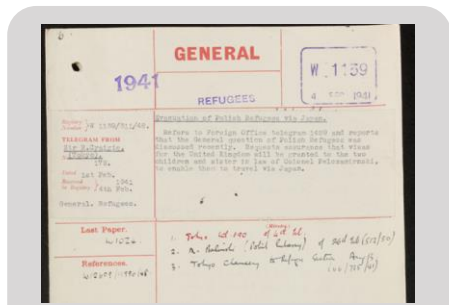
アルバニア、アラブ、アルメニア、アッシリア、オーストリア、バルト諸国、ベルギー、英国、ブルガリア、中国、チェコ、エチオピア、フランス、ドイツ、ギリシア、ハンガリー、イタリア、ユダヤ、ラトビア、ノルウェー、ポーランド、ルーマニア、ロシア、スペイン、ウクライナ、ユーゴスラビア他

対象地域：

オーストリア、ベルギー、ブラジル、英領ギアナ、中欧、東欧、中国、キプロス、デンマーク、東・北・南西アフリカ、エジプト、エチオピア、フランス、ドイツ、ジブラルタル、ギリシア、インド、イラン、イラク、イタリア、ジャマイカ、モーリシャス、パレスチナ、ポーランド、ポルトガル、ローデシア、スペイン、スウェーデン、スイス、タンガニーカ、中東、トルコ、ユーゴスラビア他



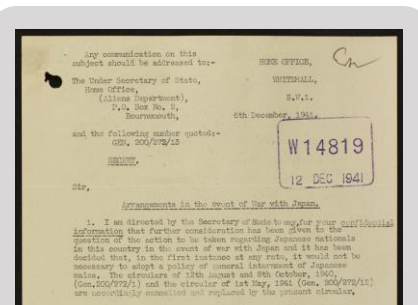
↑スペイン人難民の選別について。  
(FO 371/24519)



↑ポーランド難民の日本経由での避難  
(1941年2月1日～10月20日)。  
(FO 371/29213/W1139)



↑『ヨーロッパの故郷を追われた人々：避難民の移転』より。  
(FO 371/42836/W1346)



↑対日戦争発生時の対応（1941年12月6日）。  
(FO 371/29184/W14819)

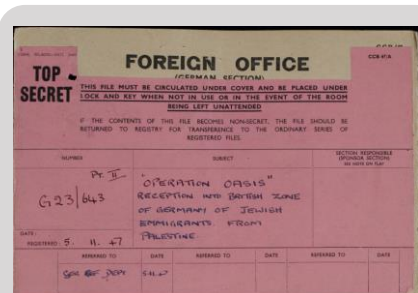
## Refugee Files from the Records of the Foreign Office, 1938-1950

### 《外務および英連邦省 難民記録、1938-1950年》

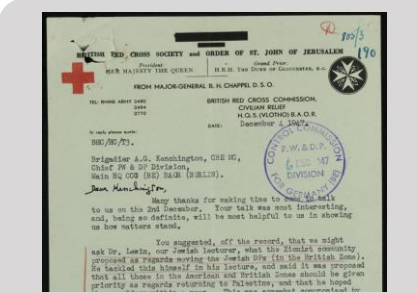
外務および英連邦省の様々な部局から選択的に提供されたファイルを収録、当時の政治的な課題や議論を探究し、それらが強制移住の歴史や難民の状況に対する政治的な反応とどのように交差するかを探究することができます。

対象部局：Control Office for Germany and Austria, Control Commission for Germany, Foreign Office and Foreign and Commonwealth Office Embassy and Consulate, Allied Commission for Austria, Foreign Office's Consular Department, Vatican Legation, Treaty Department, German Section's Finance Department, Private Office Papers of Sir Anthony Eden, Intergovernmental Committee on Political Refugees (Berenger Committee)

対象地域、民族、教徒：アルバニア、アラブ、アルメニア、アッシリア、オーストリア、バルト、ベルギー、イギリス、ブルガリア、中国、チェコ、エチオピア、フランス、ドイツ、ギリシア、ハンガリー、イタリア、ユダヤ、ラトビア、ノルウェー、ポーランド、ルーマニア、ロシア、スペイン、ウクライナ、ユーゴスラビア他



↑ユダヤ難民をパレスチナに送還せず、イギリス領ドイツへ送った極秘作戦に関する文書。(FO 945/763)



↑国をもたない人々：ユダヤ人のパレスチナ移住（1947-1948）（1941年2月1日～10月20日）。  
(FO 1052/429)

# 第1集：第二次世界大戦と強制移住

## Refugee Records from the War Cabinet, the Colonial Office, the Defence Office, the Home Office and the War Office, 1935-1949

### 《植民地省、戦時内閣、国防省、内務省、陸軍省 難民記録、1935-1949年》

外務および英連邦省以外の部局に関わる第二次世界大戦前、戦中、戦後の難民問題関連の記録を収録します。特に、難民危機に責任を持つ植民地省、内務省、陸軍省等の省庁が果たした独自の役割をとりあげます。

難民の救済と再定住に関する、以下の部局および地域の内容を含みます。

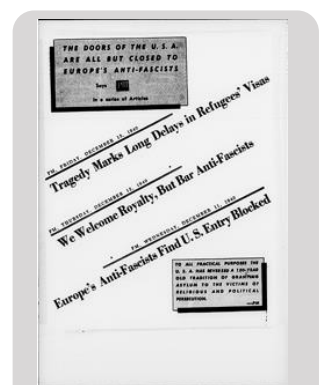
- ・ 植民地省通信ファイル：バハマ、英領ギアナ、英領ホンジュラス、キプロス、東アフリカ、フィジー、ジブラルタル、ゴールドコースト、ジャマイカ、ケニア、リーワード諸島、モーリシャス、中東、ナイジェリア、北ローデシア、ニヤサランド、パレスチナ、ソマリランド、タンガニーカ、トリニダード、西インド諸島、ウィンドワード諸島
- ・ 内務省ファイル：チェコスロバキア難民基金
- ・ 戦時内閣ファイル：復興事務局、英統合参謀派遣団、中東関連各委員会、Lord Hankey他大臣文書
- ・ 陸軍省ファイル：地中海戦域駐留連合軍、国内軍司令部、連合軍と連携しての英国軍事任務関連文書

## Records of the Department of State Relating to the Problems of Relief and Refugees in Europe Arising from World War II and Its Aftermath, 1938-1949

### 《第二次世界大戦中・戦後にヨーロッパで発生した難民と救済関連 米務省記録、1938-1949年》

ヨーロッパ開戦以前の1938年から終戦後の1949年にかけて、ヨーロッパにおける難民救済策と難民の扱いに関し、米国の関心と関与を記録した米務省記録です。

- ・ ヨーロッパでの惨事、災害、救済関連の問題に関する、以下のようなトピックをカバーします。
  - ・ 米務省による医薬品・医療用品・医用機器輸送中のアメリカ赤十字社支援
  - ・ ヨーロッパへのその他の支援物資、戦時中の被占領国市民に対する救済努力
  - ・ Office of Foreign Relief and Rehabilitation Operationsの戦後の救済活動
  - ・ 大統領直轄 戦時救済統制委員会
  - ・ 連合国救済復興機関(UNRRA: United Nations Relief and Rehabilitation Administration)
  - ・ 対欧州物資供与機関(CARE: Cooperative for American Remittances to Europe, Inc.)
  - ・ 1946年3-4月のフーヴァー元大統領の飢餓救済委員会委員長としてのヨーロッパ、アジア訪問
  - ・ ヨーロッパ復興計画(マーシャルプランで知られる)の救済関連
- ・ ヨーロッパの難民問題を取りあげます。初期の記録では、第二次世界大戦以前のドイツ、オーストリアの政治難民、ユダヤ人難民問題を取りあげます。この状況を議論すべく、1938年7月6日から15日にかけてエビアン会議がフランスで招集され、会議の最中、参加国の多くが、ロンドンを拠点とした政府間難民委員会(Intergovernmental Committee for Political Refugees)の設置を決定しました。本コレクションでは米国の委員会への参加や、世界中のヨーロッパ難民問題を記録します。
- ・ 米務省と他省庁や民間団体との協力関係もとりあげています。戦後に強制移住させられた人々や東欧の共産主義から逃れた難民に関する情報を含みます。
- ・ 外交官や領事館員から送られた指示書、急送文書、電信(しばしば同封文書を含む)、国務省と現場担当者や諸外国の在米外交官・領事館員との間で交わされた文書、官僚のメモ、米国各省庁や民間組織、個人と交わされた書簡なども含みます。
- ・ 収載トピック：
  - ・ Dominican Republic Settlement Associationによるサントトミンゴへのユダヤ人難民の定住
  - ・ Linton Wellsの難民定住可能地域視察のためのアンゴラ訪問(1939年5-8月)
  - ・ ヨーロッパから他地域への難民(特にユダヤ人)の密入国
  - ・ サンタローザ(カリフォルニア州)やメキシコにあるポーランド難民キャンプの設置と閉鎖
  - ・ 連合軍司令部への難民および強制移民関連諮問委員会(Advisory Committee on Refugees and Displaced Persons)の設置
  - ・ ソビエトと他国の併合に際しての、バルト海地域からスウェーデンへの難民の空輸
  - ・ パレスチナへのユダヤ人の不法移住
  - ・ ケニアの難民キャンプ報告
  - ・ 戦争難民局の活動
  - ・ 緊急難民シェルター(ニューヨーク)の開設と閉鎖
  - ・ 難民への戦後補償
  - ・ 政府間難民委員会の解散



↑米国民救済委員会が1940年12月11日からの会議のための発行したパンフレット。  
(Document No.840.48-Refugees/2433 PS/FF)

## Refugee Records from the Public and Judicial Department Collections of the British India Office, 1939-1952 《英インド省総務・法務局コレクション 難民記録、1939-1952年》

インドはアジア最大の英植民地として、アジアやアフリカからの難民の中継地としての役割を果たしました。世界各国の避難民や、対立国同士の市民の交換、戦争捕虜の扱いなどを記録します。

対象地域：ハンガリー、バルカン、ロシア、トルコ、シリア、エジプト、キプロス、パレスチナ、インドシナ、タイ、ビルマ、香港、中国、インド  
 収載トピック：戦争捕虜の扱い、ドイツ国籍者、日本国籍者（宣教師を含む）他、インドでの被抑留者、他勢力との市民の交換、東欧、ドイツ、オーストリア、イタリア国籍の人々の帰国他



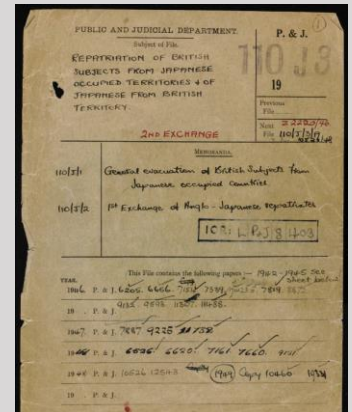
↑英国への避難民による非常事態訓練の写真 (IOR/L/PJ/8/389)

## Archives of the Central British Fund for World Jewish Relief, 1933-1960 《世界のユダヤ人救済のための中央イギリス基金アーカイブ》

ナチス・ドイツの抑圧から逃れた難民やホロコーストからの生存者の救済を目的とする慈善団体Central British Fund for World Jewish Relief (CBF)の役割を記録し、戦前から戦後にかけてのヨーロッパのユダヤ人を取り巻いていた難民危機を明らかにします。

CBFが1933年から1944年にかけてのナチス支配下のヨーロッパからユダヤ人たちを避難させようとする努力、懸念、戦後の賠償、シオニズムとホロコースト他、多くの課題に対する当事者の視点を辿ることが可能です。

- CBFは反ユダヤ主義を掲げたヒトラーが首相に就任した直後の1933年にユダヤ系イギリス人のグループにより創設されました。オーストリアやドイツの情勢悪化に際し、各国政府やユダヤ人救援団体に早期に行動を起こすよう圧力をかけ、自らも教職者、科学者、裁判官、医師、法律家、歯科医、実業家など、職を失った人々を避難させるようになりました。本コレクションは避難所、宿泊施設、強制収容所、学校、身元引受家庭の活動を詳述します。
- 銀行の貸越金や、最終的にはキリスト教協議会や英国内務省の支援で運営を維持したCBFの財政的苦難についてもとりあげています。
- 終戦後は、ヨーロッパ捕虜収容所に取り残された人々や、隠れ家から出てきた人々への支援という大きな課題に挑みました。当事者の証言には、戦時中にもたらされた恐怖が記録されています。
- 賠償・補償を巡るCBFの闘いについても記録します。財産を取り戻す仕事の多くは、ドイツの返還法の下、ドイツ系ユダヤ人の法律家チームによって行われました。
- 戦争によって強制移住させられたユダヤ人に関わる問題を幅広く取り上げます。あわせてパレスチナ問題やイスラエル建国等、諸外国でのCBFの活動にも言及しています。
- 収載トピック：
  - 1938年から1939年の間のオーストリア情勢に関連する、Norman Bentwichの報告。
  - Adolf Eichmannとの討論記録。
  - 世界中のユダヤ人コミュニティの代表が参加した、ドイツ系ユダヤ人の救済のための1933年のロンドン会議の完全な議事録。
  - CBF設立、活動関連の記録文書。
  - 1933年5月16日から1962年にかけての執行委員会のほぼ完全な議事録。
  - 国別の報告書：アデン、オーストリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、エジプト、フランス、ドイツ、ジブラルタル、ギリシア、インド、アイルランド、ジャマイカ、ケニア、レバノン、モロッコ、オランダ、ニュージーランド、ニヤサランド、ポーランド、ローデシア、ルーマニア、上海、南アフリカ、イスラエル、パレスチナ
  - 副委員会や関連団体の文書：Parliamentary Committee on Refugees (1939-1948)、World Union for Progressive Judaism (1937-1960)、Pioneer Welfare Fund、Central Department for Refugees、Refugee Children's Movement、Central Committee for Refugees (1940-1944)



↑第二次英日交換 (1942年8月～1948年9月)。(IOR/L/PJ/8/403)



↑ハンガリー、バルカン半島、トルコ、シリアからの英国国民の避難：難民キャンプと写真を含む (1940年8月～1944年12月)。(IOR/L/PJ/8/389)



↑1940年11月21日付の世界のユダヤ人救済のための中央イギリス基金からの電報。United South African Jewish War Appealの創設、南アフリカにおけるユダヤ人志願兵などについて。(World Jewish Relief Folder 83, South Africa)

# 第2集：冷戦初期と脱植民地化時代

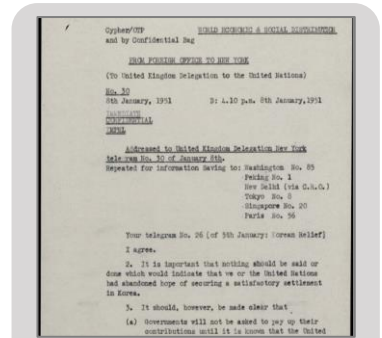
## Refugee Records from the General Correspondence Files of the Political Departments of the Foreign Office, Record Group 371, 1947-1966

### 《外務および英連邦省政治部 一般政務文書 難民記録 グループ371、1947年-1966年》

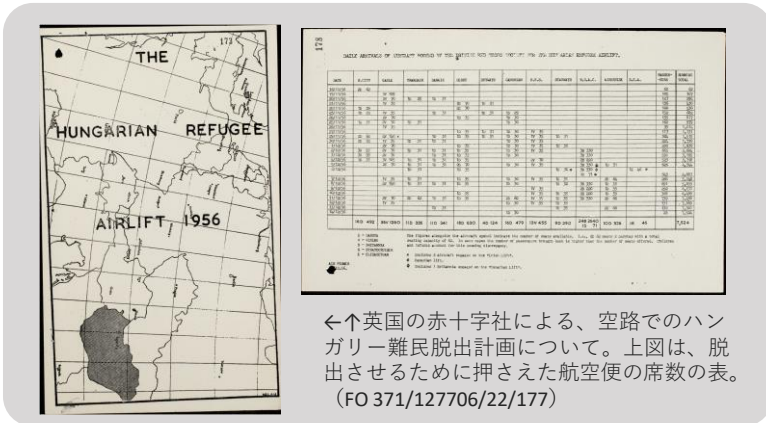
外務省政治部一般政務文書を収録するFO371より、第二次世界大戦直後から1960年代までの難民に関連する資料を1451点精選して提供し、難民危機の調査を可能とします。さらに、旧欧州植民地の地域による、脱植民地化が果たした役割についても記録し、難民や迫害の歴史に関する多様な資料を収録します。

対象地域、民族、教徒：アルバニア、アンゴラ、アラブ、バルト、中国、ドイツ、グアテマラ、ユダヤ、イスラム、パレスチナ、ルワンダ、南アフリカ、ユーゴスラビア他

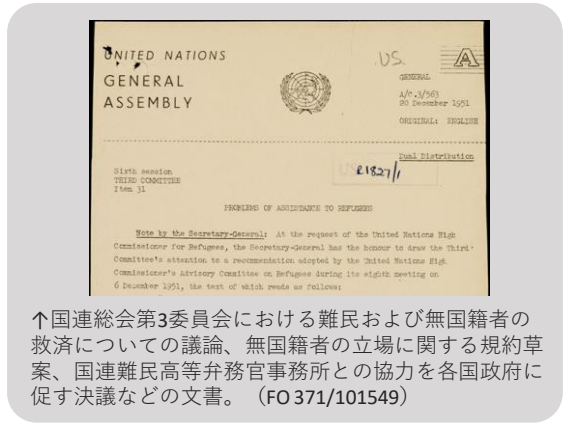
記載トピック：ハンガリー蜂起、中国、ベトナム、キューバ、ソビエト連邦の共産主義国家からの政治難民の亡命、朝鮮戦争に関連する集団移住、イスラエル建国、難民に対する救援活動、救済基金の設立、ナチス・ドイツによる犠牲者への補償及び彼らの経験を記録するアーカイブ事業（International Tracing Service）、将来的な戦争および危機へ備えた対策、アラブ難民によるイスラエルへの補償請求、ハンガリー移民の英国移住とその難点他



↑朝鮮戦争の難民とパレスチナ難民の救済に関する文書群。国連の韓国救済機関（Korean Reconstruction Agency）の予算削減等について、イギリス代表団へ相談する書簡。（FO 371/95851）



↑英国の赤十字社による、空路でのハンガリー難民脱出計画について。上図は、脱出させるために押さえた航空便の席数の表。（FO 371/127706/22/177）



↑国連総会第3委員会における難民および無国籍者の救済についての議論、無国籍者の立場に関する規約草案、国連難民高等弁務官事務所との協力を各国政府に促す決議などの文書。（FO 371/101549）

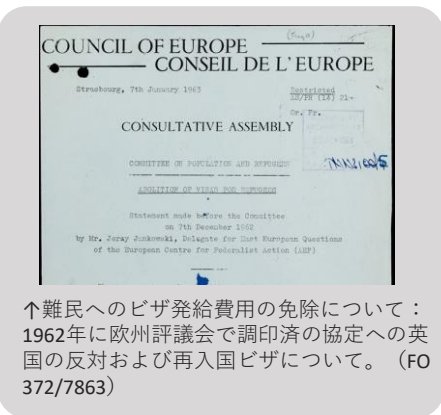
## Refugee Records from the Foreign Office, 1947-1967

### 《外務および英連邦省 難民記録 1947年-1967年》

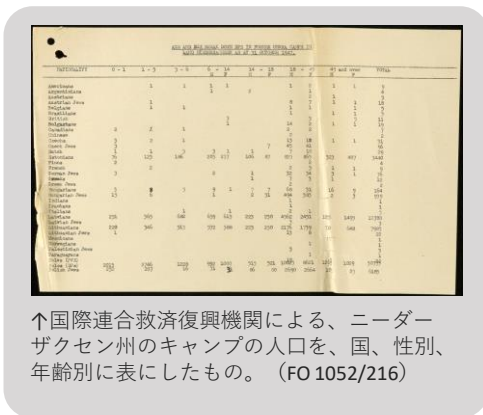
政治部以外の様々な部局（下部参照）から資料を集約し、各部局が対応した政治・外交問題と、難民の状況に対する政治的な反応との交差性を探求することができます。

対象部局：Ministry of Economic Warfare and successors, Foreign Office Information Policy Department, British Middle East Office, United Kingdom Delegation to the United Nations, Administration of African Territories, and the Control Office for Germany and Austria

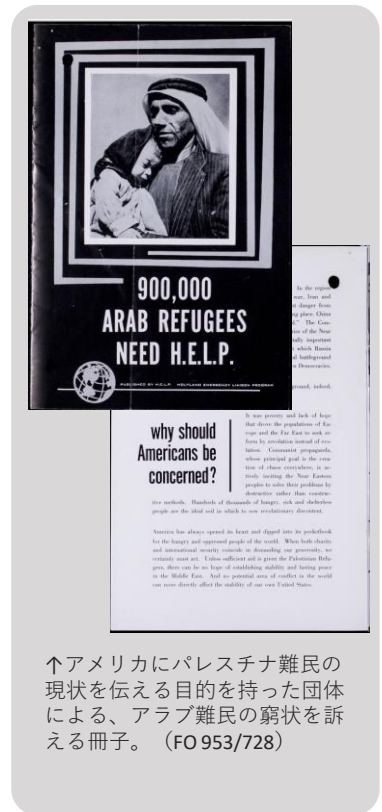
対象地域、民族、教徒：アラブ、キューバ、ドイツ、ハンガリー、ユダヤ、パレスチナ、ポーランド、ソビエト、タイ他



↑難民へのビザ発給費用の免除について：1962年に欧州評議会で調印済の協定への英国の反対および再入国ビザについて。（FO 372/7863）



↑国際連合救済復興機関による、ニーダーザクセン州のキャンプの人口を、国、性別、年齢別に表にしたもの。（FO 1052/216）



↑アメリカにパレスチナ難民の現状を伝える目的を持った団体による、アラブ難民の窮状を訴える冊子。（FO 953/728）

## Refugee Records from the Offices of United Kingdom, 1947-1970

### 《英国各政府省庁 難民記録（外務省以外）1947年-1970年》

国防省、海軍、植民地省、内閣府など、外務省以外の各省庁（下部参照）による難民関係文書を収録します。紛争、革命、政治的な動乱の影響を受けた難民の窮状を記録します。

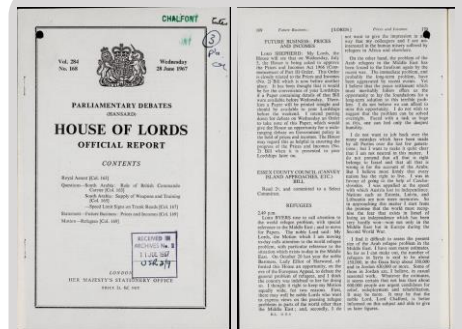
対象部局：Admiralty and Ministry of Defence, Navy Department, Unemployment Board Assistance Board, Ministry of Civil Aviation and Successors, Treasury, Board of Trade and Department of Trade and Industry, Cabinet Office and predecessors, Charity Commission, Colonial Office and predecessors, Dominions Office and Commonwealth Relations Office, Education Department and successors, Home Office, and Ministry of Labour

掲載トピック：ベトナム難民の避難、ハンガリー動乱、南アフリカからの政治難民、ザンバジル革命、南アフリカからの政治難民、ソ連からの政治難民、難民による旅券の請願他

対象地域、民族、教徒：中国、ハイチ、ホンジュラス、インド、ユダヤ、モルディブ、ポーランド、チェコ、ハンガリー、ユーゴスラビア、キプロス、パキスタン、チベット、南アフリカ、ウガンダ、スーダン、ジンバブエ、バストランド（現レソト）、ベネズエラ、アルゼンチン他



↑ハイフォンからのベトナム難民が、英国海軍の艦隊に乗船して脱出する様子。（ADM 1/25561）

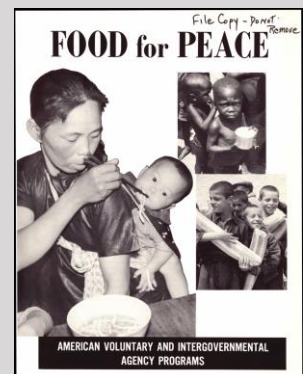


↑イギリス上院議会における、難民の議論の記録（ハンサード）。（FCO 61/464）

## Selected Records of the American Council of Voluntary Agencies for Foreign Service Refugee Records

### 《海外事業運営篤志団アメリカ協議会精選文書》

難民の受け入れ支援に関連する民間団体を取りまとめる、海外事業運営篤志団アメリカ評議会（ACVAFS）の会議録、パンフレット等の出版物、書簡、会議資料、団体運営に関するファイルなどを収録し、アメリカの民間団体による難民支援の実態を記録します。連邦政府と協力し世界の救援活動を行う様子は、冷戦期においてはアメリカの博愛主義を海外に広め米国のイメージを向上させる、ソフトパワー外交の一種ともなりました。世界の難民支援活動および、その活動を支える宗教的な信条と政治的な思惑を調査できます。



↑世界の飢餓の現状と、これまでの食糧援助の活動経緯を紹介するパンフレット。（ラトガース大学所蔵 25.37）

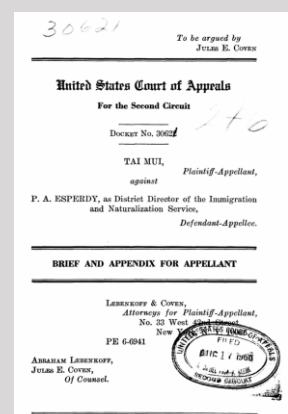
## Briefs Filed in the Circuits of the U.S. Federal Appeals Courts on Refugees and Asylum

### 《難民・亡命に関する控訴趣意書集》

冷戦初期の時代における、亡命、本国送還などに関する合衆国控訴裁判所の控訴趣意書を4万ページを収録し、世界の政治情勢や迫害が難民の移住に与える影響を記録します。控訴趣意書の多くは入手困難で、貴重な資料です。

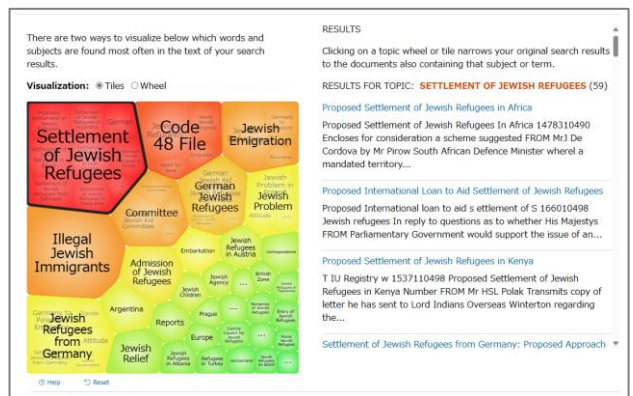
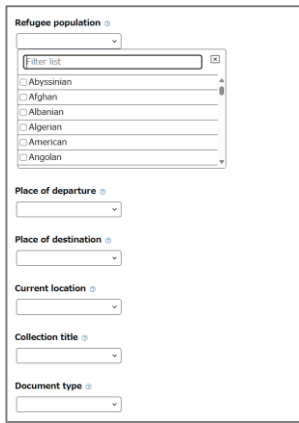
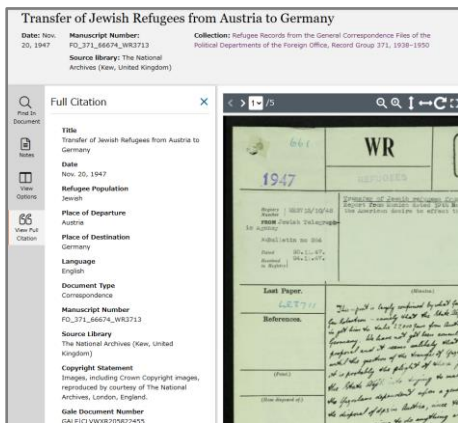
対象地域：ポリビア、中国、エジプト、ハンガリー、イタリア、パレスチナ、ユーゴスラビア他

掲載トピック：亡命、強制送還、Chow Lung Shen v. Esperdyの裁判事件（中国人難民による亡命の請求）、Bajalieh v. Beechieの裁判事件（英領パレスチナ下に生まれ、パレスチナの領土問題を理由に、米国の移民資格を請求）、Diminich v. Esperdyの裁判事件（ユーゴスラビア人による政治的信条を理由とした亡命の請求）他



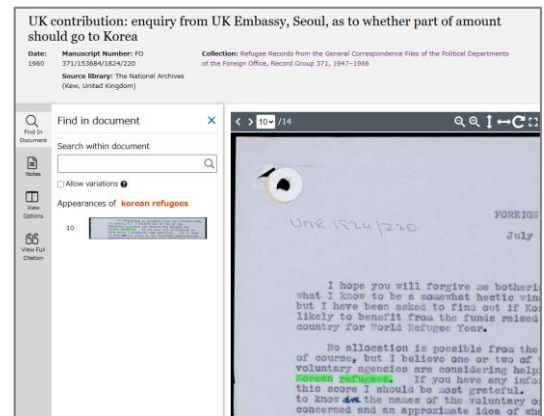
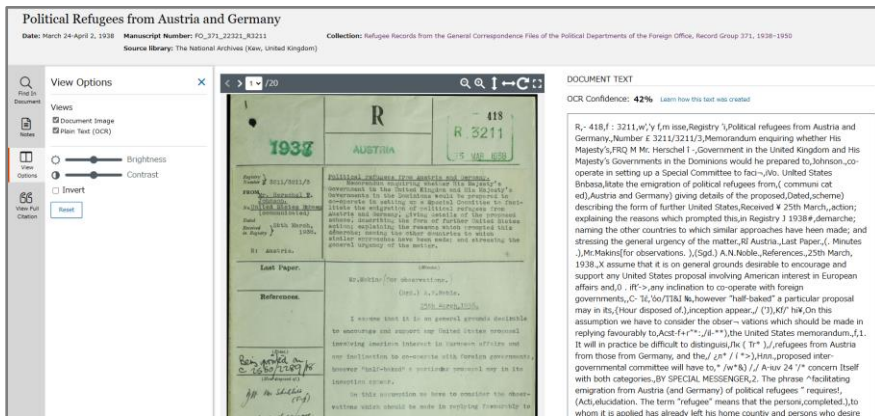
↑香港出身のTai Muiが、米国からの国外追放に対して上訴した際の控訴趣意書。（ニューヨーク法曹協会所蔵）

# プラットフォームのご紹介



↑各コンテンツには、難民の民族、出身地、避難先、現在の滞在地が索引されており、これらの項目を使った検索が可能です。

↑TopicFinder 機能は、検索結果を言語解析し視覚化します。



↑ページイメージとOCR/HTRで生成されたテキストの両方を閲覧することができます。

↑全文を対象としてキーワード検索が可能です。検索語はハイライトで表示されます。

## 関連商品のご案内

### Chatham House Online Archive

#### 《英国王立国際問題研究所（チャタムハウス）アーカイブ》

国際問題に関する研究・分析で高い評価をうけているイギリスのシンクタンク、Royal Institute of International Affairs（王立国際問題研究所）、通称チャタムハウスの刊行資料と内部文書を電子化してご提供します。世界的な権威を持つ定期刊行物をはじめ、書籍、パンフレット、会議資料など、初めて電子化された資料も多数収録します。国際問題の専門家の講演やセミナーを記録した貴重な音声記録もご提供します。

本データベースは、モジュール1（1920年-1979年）、モジュール2（1980年-2008年）、モジュール3（2009年-2019年・2025年3月リリース予定）で構成され、モジュール毎の、年間購読契約または恒久アクセスライセンスでのご契約となります。後者の場合には、初年度より毎年維持料金がかかります。

1ヵ月間の無料トライアルを承ります。

